

(研究機関の名称：広島市立広島市民病院)

現在、当院泌尿器科で実施している研究へご協力のお願い

1. 研究課題名

高齢者膀胱癌に対する RALC の治療成績に関する後方視的研究

2. 対象となる方

2018年11月～2022年7月の間に、浸潤性膀胱癌に対し当院にて、ロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘除術 (Robot-assisted laparoscopic radical cystectomy : RALC) を行った全74症例

3. 研究の目的

近年、外科技術や周術期管理の向上に伴い、高齢者への膀胱全摘除術の適応も拡大しつつあるが、実臨床においては、泌尿器科領域で高侵襲とされる根治的膀胱全摘除術は高齢者に適さないとされ、回避される場面も少なくありません。しかし、高齢者の手術適応を判断する厳密な基準が存在するわけではありません。その為、高齢者に対する RALC の適応を検討する目的で行った研究です。

4. 研究期間

2022年9月(倫理審査委員会承認後)～2022年10月12日(予定)

5. 研究に使用する試料・情報の種類

次の診療情報：手術時の年齢、性別、臨床病期、NAC(NeoAdjuvant Chemotherapy)の有無、尿路変向術式、尿道抜きの有無、病理所見、CCI(Charlson Comorbidity Index)、ASA score(American Society of Anesthesiologists score)、BMI(Body Mass Index)、手術成績(手術時間、コンソール時間、出血量、リンパ節摘出個数、リンパ節陽性個数)、周術期成績(歩行開始日、経口摂取開始日、輸血の有無、鎮痛剤使用期間、術後入院日数、Clavien Dindo 分類Ⅲ以上の合併症)等です。

6. 研究組織

当院のみでの研究になります。

7. 研究責任者

広島市立広島市民病院泌尿器科 後期研修医 津川 卓士

8. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

この研究に使用する情報は匿名化処理を行い、患者さんを特定できないようにしたうえで使用します。

また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、試料・情報をこの研究に使用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

電話 (082) 221-2291 (代表)

広島市立広島市民病院泌尿器科 津川 卓士